

2 来場に当たっての基本情報

- (1) 入場チケット**
- (2) 来場方法等**
- (3) 入場方法**
- (4) 昼食・休憩場所**
- (5) 会場内での過ごし方**
- (6) 特別な支援を必要とする方への対応**
- (7) 下見について**



1. 入場チケット

学校団体割引券

		高校生	中学生 小学生・園児
前期学校団体割引券	学校団体が開幕から7/18に1回同時入場可	2,000円	1,000円
後期学校団体割引券	学校団体が7/19から10/13に1回同時入場可	2,400円	1,000円

※会場内でのパビリオン・イベントへの入場に追加料金はかかりません。

⇒ 学校団体割引券は旅行会社にお申込みください。旅行会社が団体仮予約を行います。（自治体のこども招待事業のお申し込みについては各自治体窓口にご確認ください。）

学校側では、遅くとも10日前までに人数を確定して旅行会社にお伝えください。
（それ以降の増員はできません。）

■学校団体割引券について

2025年日本国際博覧会協会団体規約に定める学校団体区分適用範囲に示される学校、学校に準じる施設の生徒・児童・幼児が、学校長・施設長の承認のもと、本協会の指定する学校団体証明書を事前に提出し、教職員に引率されて入場する場合、学校団体割引券を購入できます。

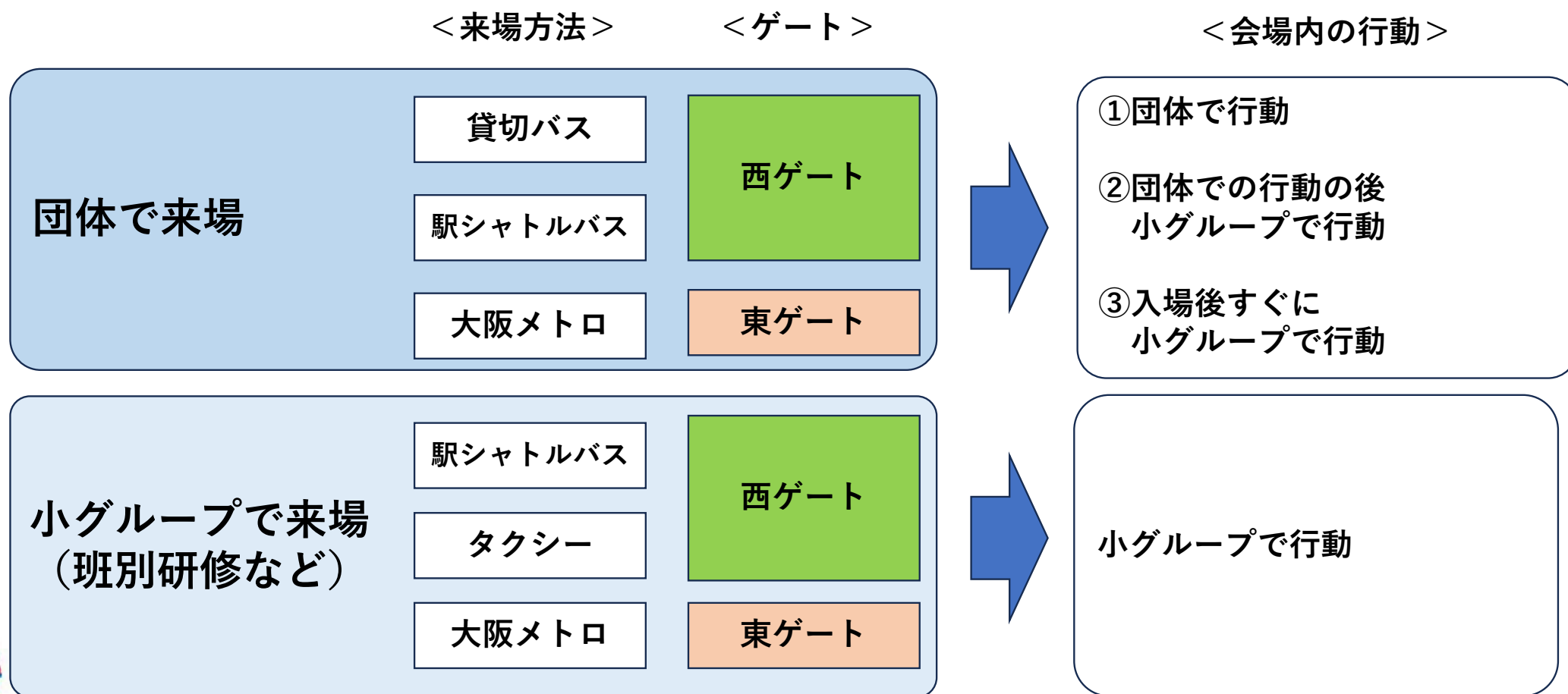
※海外からの学校団体も、本協会が指定した学校団体証明書の提出が必要です。

※学校長・施設庁が申請し、本協会が承認した引率の教員・職員は、無料チケットを利用できます。



2. 来場方法等

(1) 来場方法と会場内行動のパターン



2. 来場方法等

(2) アクセス

①貸切バスで来場する場合

- ・貸切バスを利用する場合は旅行会社があらかじめバス乗降場・待機場の予約をします。
- ・バス乗降場まで、新大阪駅からは約30分、京都や奈良地区に宿泊する学校も1時間程度の移動時間でアクセスが可能です。（通常期の所要時間です）

※期間中は迂回や交通渋滞等が予想されるため時間に余裕を持った対応をお願いします。

※バス乗降場より西ゲートまでは平均で約1,000m（徒歩約15分）の徒歩移動が必要です。

※小学校低学年や特別支援学校など徒歩移動の負担が大きい学童・生徒への対応に関しては、ゲートに近い場所における乗降等の実現性について関係機関と検討を進めます。

検討結果は9月ごろにお示しする予定です。

- ・出場時には後述の会場内団体休憩所を集合場所とすることを検討中です。

②公共交通機関を利用する場合（団体・小グループのいずれも）

- ・例えば、JR京都駅からは、新大阪駅で大阪メトロに乗り換えて夢洲駅（東ゲート前）まで約90分（乗換時間を含む）、又は大阪駅経由桜島駅でシャトルバスに乗り換えて西ゲート前まで約80分、です。

- ・一部を除く各主要駅からのシャトルバスは予約制です。

- ・タクシー等で来場することも可能です。



(参考)博覧会会場について



【貸切バス利用の場合】

- ①バス乗降場で降車後、
西ゲートより入場

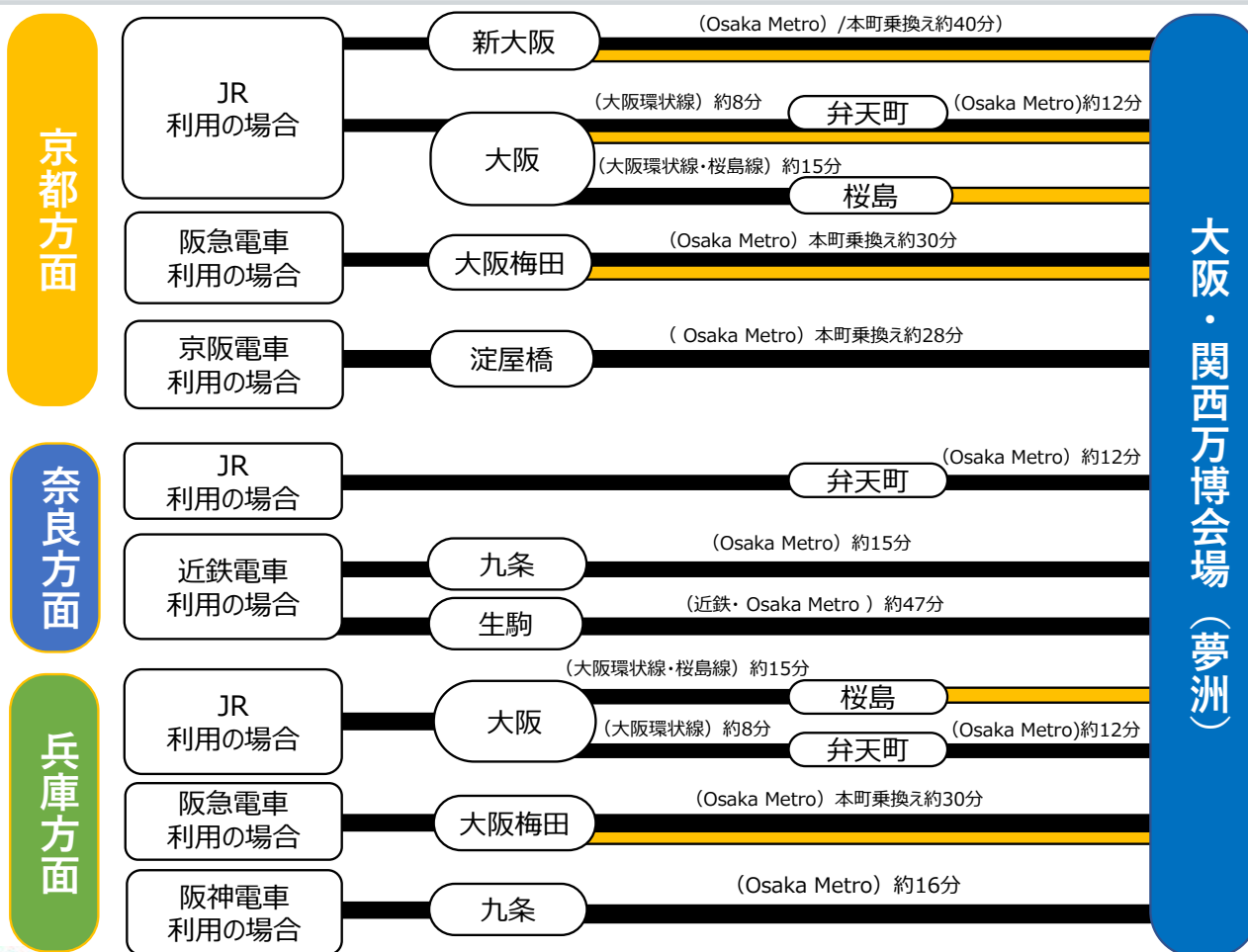
- バス乗降場から西ゲートまで
約800～1,000m徒歩移動
- バス待機場(舞洲)及び
バス乗降場は予約が必要

【公共交通機関利用の場合】

- ①OsakaMetro夢洲駅利用
東ゲートより入場
- ②各主要駅よりシャトルバス利用
西ゲートより入場



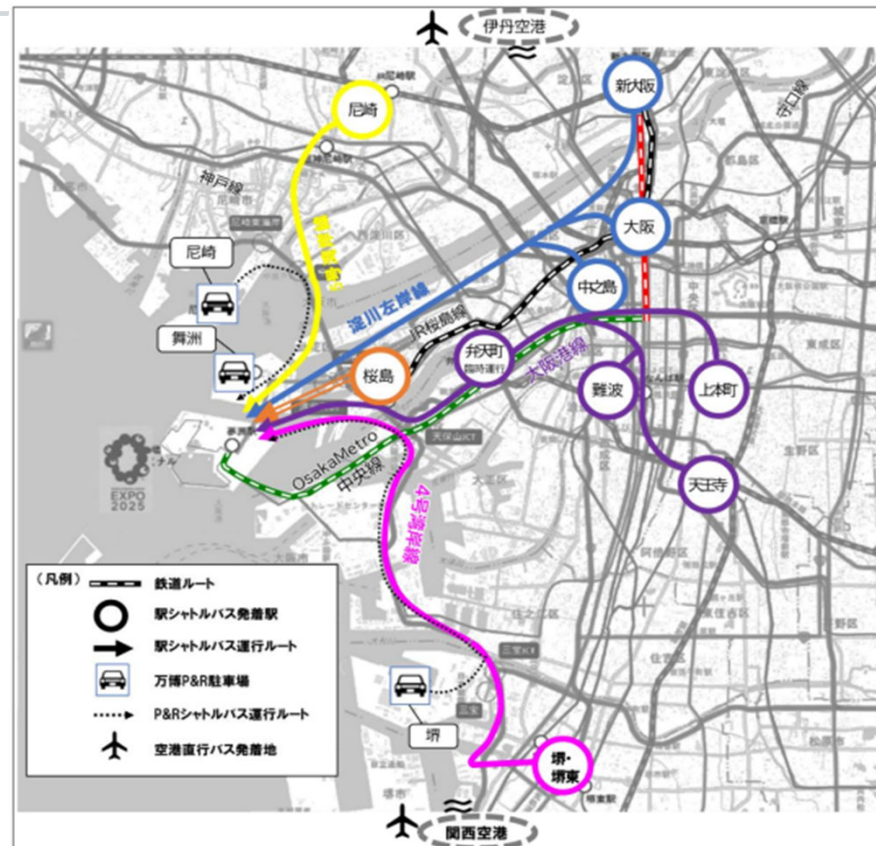
(参考) 京都・奈良・神戸方面からの会場アクセス (一例)



各地からの電車での万博会場アクセス (乗換時間は含みません)

- ・JR京都駅より約1時間10分
- ・JR奈良駅より約1時間00分
- ・JR三ノ宮駅より約1時間00分
- ・阪急京都河原町より約1時間30分
- ・近鉄奈良駅より約1時間10分
- ・阪神神戸三宮駅より約1時間00分

は駅シャトルバスの利用となります
※予約制 (桜島駅便は未定)
団体予約については未定です。



■バスでのアクセスについて

- ・阪神高速湾岸舞洲ICよりバス乗降場まで約5キロ
- ・バス乗降場よりバス待機場までは、約4キロ

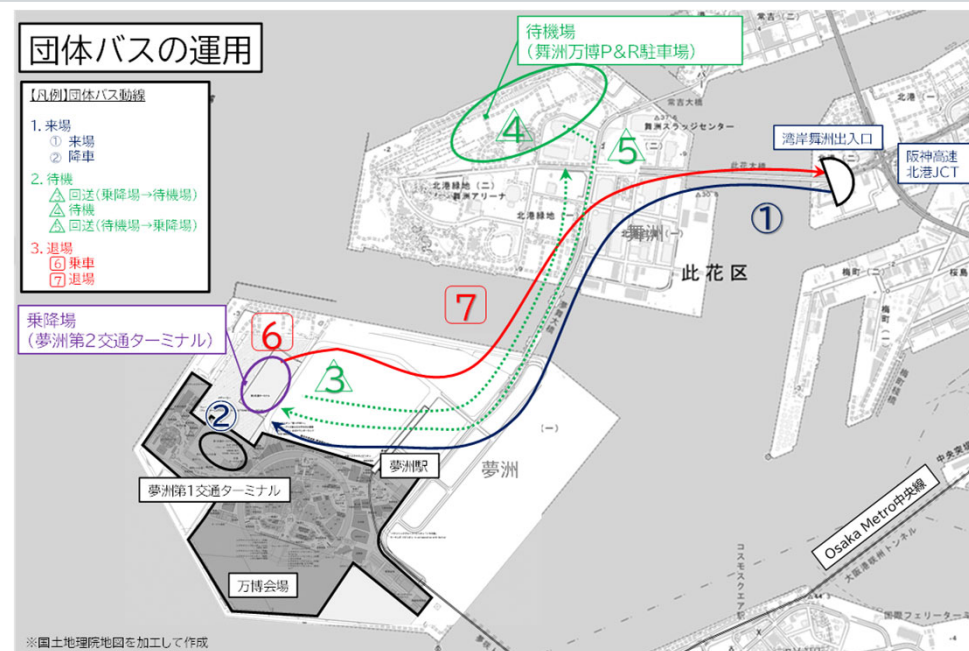
■タクシー・ジャンボタクシー利用の場合

- ・西ゲート前交通ターミナルで乗降が可能です。予約車が迎えの場合は長時間の待機はできませんので速やかに乗車いただきます。
- ・乗降場予約は不要です。

(参考)貸切バス乗降場・待機場の運用・利用料金について

- 貸切バスやツアーバス等の貸切バスで来訪される場合は、夢洲第2交通ターミナルをご利用いただくことになります。
- 夢洲第2交通ターミナルでお客様を降ろした後、バスを待機させる場合は、舞洲万博P&R駐車場をご利用いただき、お帰りの際には、再び夢洲第2交通ターミナルでお客様に乗車していただきます。(右図参照)

- 夢洲第2交通ターミナル及び舞洲万博P&R駐車場をご利用いただくためには、来場前日までに日時予約(有料)が必要です。
- 万博P&R駐車場予約システムから、降車、待機場利用、乗車の目的を選択いただき、それぞれ予約することができます。(お支払いはクレジットカードによる事前決済となります。)



《利用料金》

車種 (料金区分)	施設	利用料金 (円)	基本料金 (円)	変動料金(円)				高速道路インセンティブ(円) ※1
				日			混雑時間帯	阪神高速 中心部迂回
				繁忙期	通常期	閑散期	8～10時台	
バス	舞洲万博P&R駐車場	9,000 ～13,000	11,000	1,000	0	▲ 1,000	1,000	▲ 1,000
	夢洲第2交通ターミナル(乗降のみ)	1,100 ～ 1,900	1,500	200	0	▲ 200	200	▲ 200

※1 阪高指定出口を利用しない場合(一般道で来場)は、上記に一律1,000円(バスは2,000円)を加算した料金を徴収

* 障がい者団体のバスは、夢洲障がい者用駐車場内の乗降場と待機する場合は舞洲万博P&R駐車場の利用となります。(利用料金は乗降場、待機場ともに上記料金の半額で、※1の加算料金は徴収しません。)

* 利用料金については、7月19日の来場者輸送対策協議会で報告後に、同日付けで決定、公表予定

3. 入場方法

- (1) 旅行会社から入手したチケット（QRコード付き）を、入場者各自が提示して入場する必要があります。

※旅行会社が入手したチケットは、事前に学校で配布する、貸切バスの中で直前に配布するなど、個別の事情に応じて、あらかじめ旅行会社とご相談ください。
午前中早い時間帯などは入場ゲート前の混雑も予想されますので、ゲート前でのチケット配布はご遠慮ください。

- (2) 旅行会社が事前に協会に申告する場合には、団体の代表者1名のチケットの確認をもって他の構成員の入場を認める場合があります。（例）小学校低学年・障がい者等
- (3) 小グループで来場する場合など、旅行会社が入手したチケット番号を、学校側からあらかじめ各自に配布して、Webサイトで登録することで、各自のスマートフォンの画面（やそれを印刷した紙）でQRコードを提示して入場することもできます。



4. 昼食・休憩場所

(1) 弁当の持ち込み

- ・ 会場への弁当・水筒・ペットボトルの持ち込みは可能です。
- ・ 団体休憩所（お弁当広場・屋根付き）を複数設置します（小学生以下の園児・児童を優先の予定）。 予約は旅行会社が行います。
- ・ リング下や芝生広場などにおいて、自由に食事をとっていただくことも可能です。

(2) レストラン等の飲食施設

- ・ 会場内には食事を提供するレストランやコンビニ、キッチンカー等が出店します。

※ 会場内施設の決済はキャッシュレス対応（スマートフォンでの電子決済、交通系ICカード、プリペイドカード等、約60種類の決済ブランド）です。

会場内にプリペイドカード販売機や現金チャージ機を設置予定です。あらかじめ一括してプリペイドカードの準備等を希望する場合は旅行会社に御相談ください。

(3) 団体休憩所

- ・ 予約制の団体食事場所は、昼食の時間帯（11:00～14:00頃）以外は団体休憩所としてご利用いただけます。 また、一般来場者向けの休憩所も多く設置する予定です。

(4) 会場内にマイボトル給水機、ウォーターサーバー、自動販売機を設置します。

※ 教員の待機場所として、団体休憩所や飲食施設を活用いただけます。



(参考) 団体休憩所（お弁当広場）の設置計画

1. 団体休憩所（お弁当広場）の想定利用者数

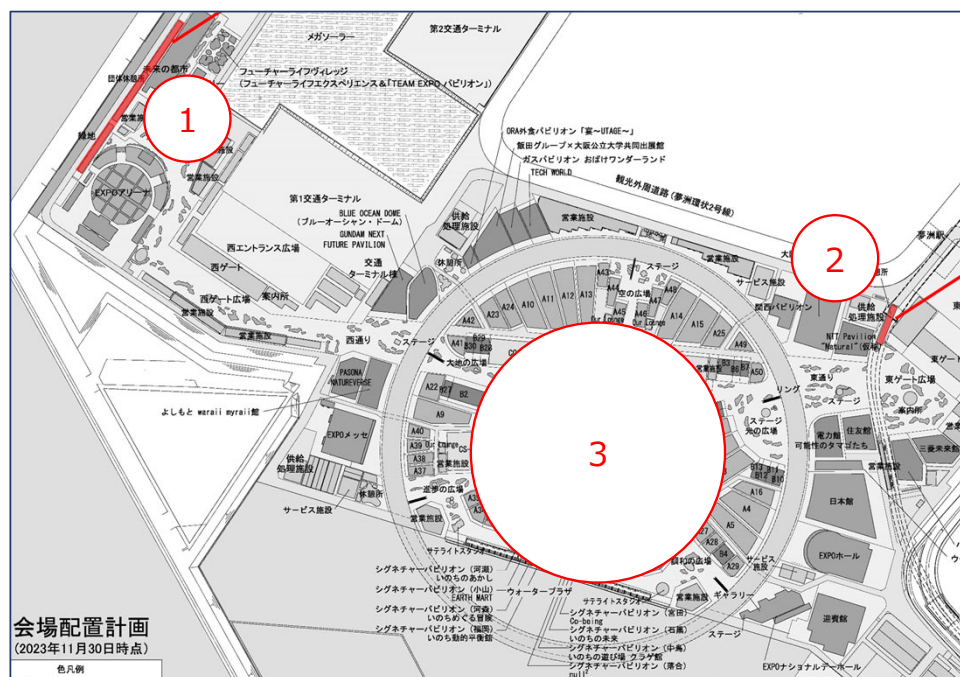
小学生と幼児 約100万人（自治体こども招待事業校外学習、近隣県からの修学旅行）

2. 設置期間

4月から9月（GW、夏休みを除く）平日 ※70日間

（1日平均14,300人→予約制で4回転→1回約3,600席）

3. 団体休憩所（お弁当広場）の配置図



	施設	広さ	1回あたり	仕様
①	西休憩所	2,430m ²	1,800席	屋外(屋根付き) テーブル・ベンチ
②	東休憩所	640m ²	300席	屋外(屋根付き) テーブル・ベンチ
③	リング内	複数個所	1,700席	屋内、屋外(テント) 仕様は未定
	①～③計		3,800席	

(参考) 通常の休憩所、営業施設

以下の休憩所・営業施設⑨でも休憩することが可能です

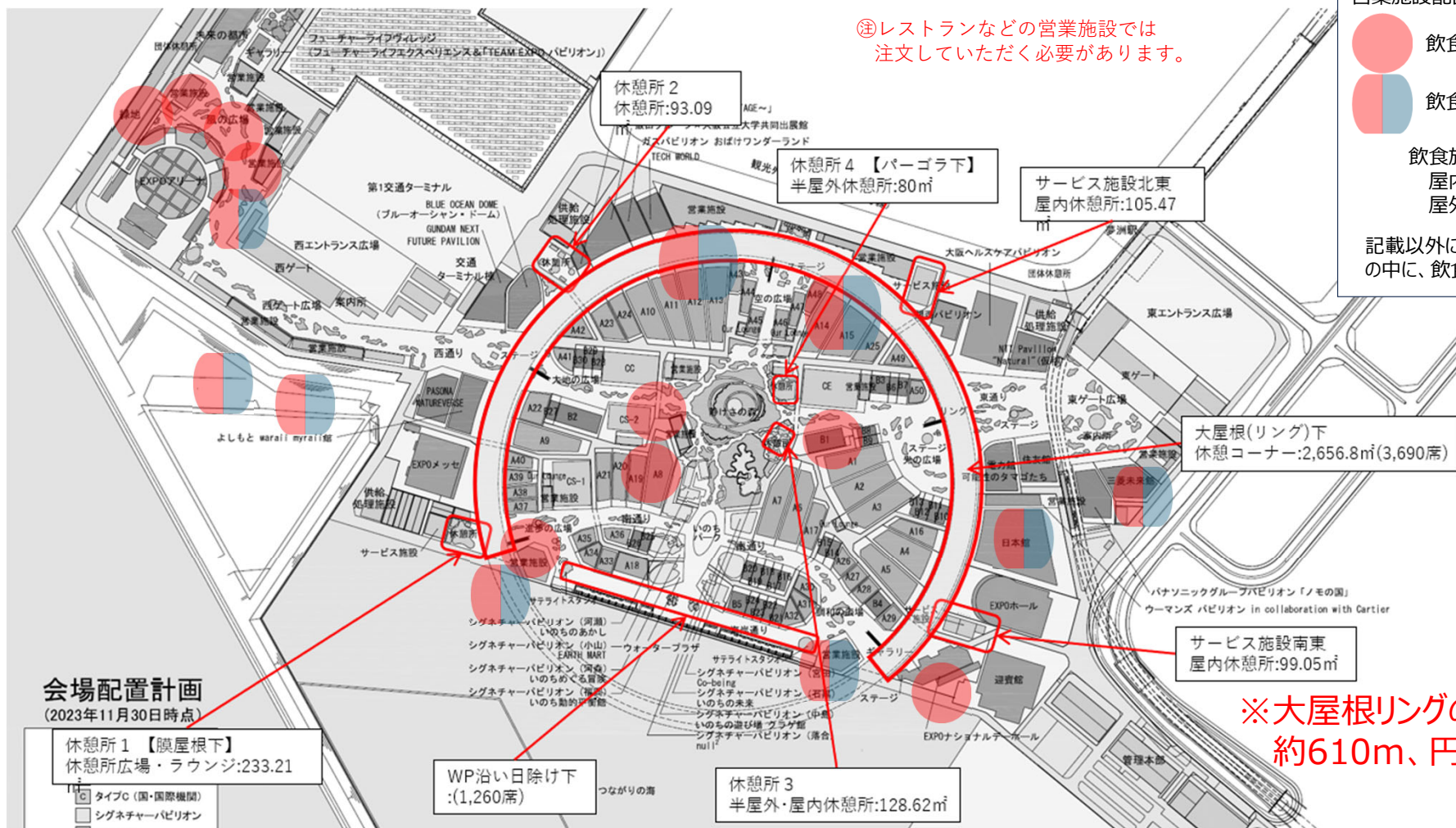
⑨レストランなどの営業施設では
注文していただく必要があります。

営業施設配置

- 飲食店舗のみ
- 飲食・物販店舗

飲食施設：約 50店舗
屋内席：約 9,000席
屋外席：約 4,000席

記載以外にも、一部パビリオン等
の中に、飲食・物販店舗もある。

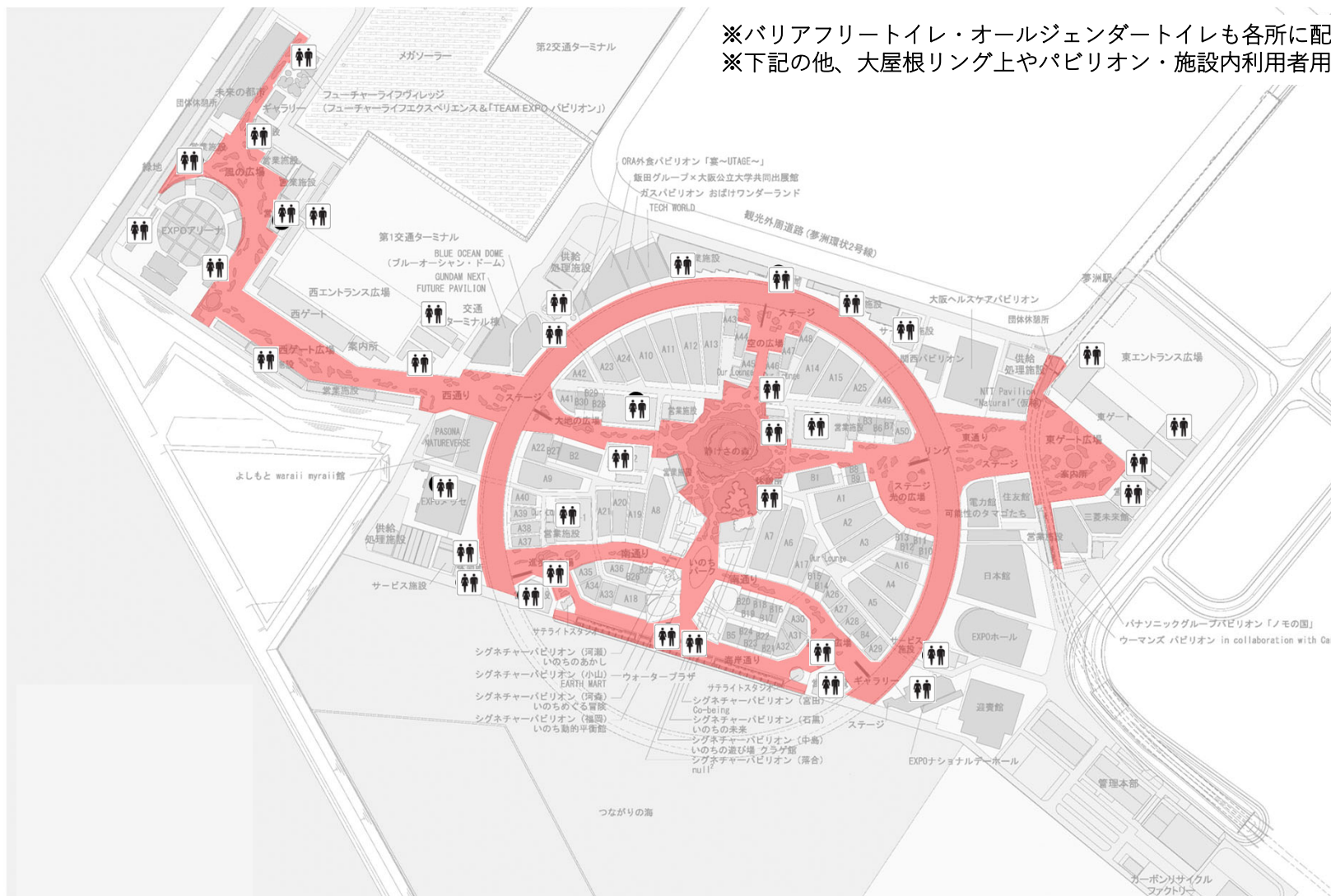


(参考) 来場者用トイレ配置図



現時点での配置図であり、今後の検討・設計により変更する場合があります。

※バリアフリートイレ・オールジェンダートイレも各所に配置。
※下記のとおり、大屋根リング上やパビリオン・施設内利用者用トイレもある。



5. 会場内での過ごし方

(1) パビリオン・イベント予約について

●団体予約

開幕6カ月前（10月13日）以降に、旅行会社経由で各種団体予約の受付を行う予定です。予約可能な施設等について現在調整中です。

●小グループ（14名以下）での予約

旅行会社から入手したチケット番号を、あらかじめ学校側から各自に配布して、Webサイトにて、小グループの代表者がまとめて又は個人毎に、予約の抽選申込をすることができます。

※上記団体予約をした場合は、3日前からの空き枠先着予約・当日予約のみ可能です。

(2) パビリオン・イベント予約なしでも楽しめます

●リング（大屋根）、未来社会ショーケース（空飛ぶクルマ発着場やEVバスの運行）、集合タイプのパビリオンや一部の施設（現在調整中）などでは、予約なしでも楽しめ、学ぶことができます。目的別にそれぞれの過ごし方を検討してみてください。

●テーマ別クイズラリーなどの児童・生徒向けのプログラムを準備する予定です。詳細が決まり次第公式ホームページ等に掲載します。



5. 会場内での過ごし方（例）＜団体行動編＞

貸切バス・公共交通機関で来場

団体入場
(目安時間/09:00～
11:00頃)

団体での見学
(目安時間/午前中)
<1～2か所>

昼 食

団体での見学または
班別で予約なしでの見学
(目安時間/午後)

団体出場
(目安時間/15:00～
17:00頃)

●団体予約が可能な
バビリオン・イベント施設に
ついては後日発表します

●小学生以下は 団体食事場
所でお弁当を
●中学生以上はレストランで
ランチを

予約なしでも学びは盛りだくさん！

●会場シンボル・世界
最大級の木造建築物
リングに上ろう！



●フューチャーライフ
ビレッジで未来の暮らし、
未来の行動を体験しよう



●事前に学んだテーマで楽しもう！

●会場全体がSDG s の学びの場！



●未来の技術に見て・触れて・体験！
(未来社会ショーケース)
EVバスに乗ったり、空飛ぶクルマに
出会えるかも！



5. 会場内での過ごし方（例）＜小グループ行動編＞

公共交通機関・タクシーで来場

入場
(目安時間/09:00～
11:00頃)

予約した
パビリオン見学
(目安時間/午前中)

昼食

予約したパビリオン見学
または予約なしの見学
(目安時間/午後)

出場
(目安時間/15:00～
17:00頃)

● 事前に、Webサイトでパビリオンの事前予約にチャレンジ！

● 会場内施設で食事、
またはお弁当をベンチや
芝生広場で！

グループで学習テーマを設定してみよう！

● 会場シンボル・世界
最大級の木造建築物
リングに上ろう！



● フューチャーライフ
ビレッジで未来の暮らし、
未来の行動を体験しよう



● 事前に学んだテーマで楽しもう！



● 会場全体がSDGsの学びの場！



● 未来の技術に見て・触れて・体験！
(未来社会ショーケース)
EVバスに乗ったり、空飛ぶクルマに
出会えるかも！



6. 特別な支援を必要とする方への対応①

大阪・関西万博では、国・地域、文化、人種、性別、世代、障がいの有無等に関わらず、世界中の人々が利用しやすいユニバーサルデザインの実現をめざしています。

そのため、「施設整備に関するユニバーサルデザインガイドライン」や「ユニバーサルサービスガイドライン」に基づき、会場内の施設整備や来場者サービスを行い、すべての来場者にとって快適な環境を整備することとしています。

（１）会場内での情報提供

会場全体のマップとして、公式アプリのデジタルマップに加えて、車いすユーザーなどにはユニバーサルマップ、視覚による情報を得にくい方や点字ユーザーには触覚（点字）を活用した触知図、感覚過敏の方向けにセンサリーマップを検討しています。

また、ユニバーサルの視点・意識を醸成する基礎的なコンテンツや、タブレットなどでの筆談といった障がいのある方への具体的なサポート方法を習得をするコンテンツを用いたスタッフへのユニバーサル研修を実施予定です。

（２）合理的配慮の提供を相談したい場合

入口となる東西ゲートに1か所ずつあるアクセシビリティセンターで、車いすの貸出や障がいのある方のフォロー等を行います。また、会場内に8か所ある案内所等に配置するスタッフも、様々な配慮が必要な場合に対応できるよう検討しています。



6. 特別な支援を必要とする方への対応②

（３）トイレ介助が必要な場合

協会が会場内に広く分散して整備するトイレには、原則として、バリアフリートイレ・オールジェンダートイレを設置予定です。また、ガイドラインに基づき、各パビリオン等においてもバリアフリートイレ等の設置が検討されています。

（４）病状等により休息や医療的ケアを必要とする場合

会場内には、多数の休憩所やバリアフリートイレを設けています。また、会場内の医療救護施設（診療所 3 か所、応急手当所 5 か所）に医師や看護師を配置します。なお、重症の場合には、会場外の病院へ搬送します。

（５）パニック等を起こす可能性のある場合

会場内には、協会が整備する施設にカームダウン/クールダウンスペースを設ける予定です。また、ガイドラインに基づいて、各パビリオン等においてもカームダウン/クールダウンスペースの設置が検討されています。

（６）災害時の対応

災害時に、障がいがある方が滞在する「要配慮者用施設」（非常用電源の供給、スタッフの重点配置等）を整備します。



7. 下見について

(1) 事前視察

- ・ 博覧会会場は2025年4月の開幕に向けて工事を行っています。
工事期間中の会場内視察は危険を伴うため受入れることができません。
- ・ 会場内受入れ情報（動画での会場案内を含む）については公式ホームページ内「教育旅行ナビ」に掲載します。

(2) 開幕後の視察

- ・ 学校団体券を予約済の学校は2025年4月13日以降に会場内をご覧いただくことが可能です。
- ・ 団体規約に基づき申し込みをお願いします。

第12条（下見）

当協会が仮予約を受理した100名以上の一般団体、および学校団体は、1団体あたり添乗員を含め最大3名まで、大阪・関西万博の会場の下見を行うことができます。

下見を希望する団体は、当協会が用意する下見受付フォームに必要事項を記載し、販売事業者を通じて、当協会に下見を申し込みます。

当協会は、会場の混雑状況により、希望日の下見を受け付けないことがあります。

下見後に団体の入場を取り消した場合には、当協会は、当該団体に対し、一日券（会期中）の価格に下見人数を乗じた金額を請求します。



3 会場内の安全対策

- (1) 熱中症対策
- (2) 医療救護施設
- (3) 地震・津波の想定と発生時の対応
- (4) メタンガス事故の概要と対策



1. 熱中症対策①

暑さ指数（WBGT）が28℃を超えると熱中症患者が著しく増加。

⇒ 大阪のWBGTが28℃を超えるのは、7月～9月頃でありこの期間に重点的に対策を取る必要

会場内における熱中症リスク緩和

「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン2020」（環境省）を踏まえた対策

⇒ 暑さ指数（WBGT）を指標として対策を検討

会場内でWBGTを計測するほか、国交省によるシミュレーションで会場内のWBGTを高解像度で把握。

⇒ 対策のポイント

① 来場者への情報提供、啓発

⇒ 帽子や日傘の推奨、水分補給のお願い、熱中症アラート等について情報提供を実施

来場前から万博アプリ、万博ポータルにより情報提供を実施するとともに、会場内では、場内放送、サイネージ等も活用

② 待機列に対する対策（夏季の屋外での長時間待機はリスク）

（エントランス広場）

⇒ 待ち時間の縮減（入場予約制、十分なレーン数の確保。）、エントランス広場への遮熱舗装の実施。

エントランス広場待ち列に対するスポットエアコンによる送風（東西エントランス広場に各50台。)

（パビリオン待ち列）

⇒ 待ち時間の縮減（入館予約制）、パビリオンの行列エリアへの日射抑制の義務付け等（ガイドライン）。

③ 会場内の日陰創出等

⇒ 会場内各所にテント、パーゴラ、ミスト、スポットエアコン（会場内43台）を配置。静けさの森、リング上の植栽による地表面の高温化防止と日陰の創出。西日抑制のため、リング下部へのシェード取り付け。

④ 給水環境の整備等

⇒ 会場内各所に自動販売機（250台～）、マイボトル給水機（30台～）、ウォーターサーバー（50台～）を設置
会場内公式ライセンスストアでの日傘・クール商材等の販売



会場内の医療救護施設に**医師、看護師を配置**することで熱中症への対応に万全を尽くす

【基本的な対応】⇒ 冷房の効いた**医療救護施設における安静、身体冷却、水分補給**

【脱水症状の進行が認められる場合】⇒ **医師による輸液（点滴）処置**

※ 重篤な場合には、会場内に配置された救急車により、場外の病院へ搬送

応急手当所（5か所）

対応スタッフ	対応
看護師	・ 状態観察 ・ 身体冷却 ・ 水分補給

診療所（3か所）

対応スタッフ	対応
医師及び看護師	・ 状態観察 ・ 身体冷却 ・ 水分補給 ・ 輸液



2. 会場内の医療救護施設（診療所及び応急手当所）



医療救護対策



※会場内にはAEDを100台以上設置



3. 地震・津波の想定

南海トラフ巨大地震

最大震度は6弱

- 会場内のパビリオン等は新築で耐震設計されており、倒壊・崩壊する可能性は低い
- アクセスルートは、耐震化済構造物であり、主要構造物の損壊等の致命的な被害発生の可能性は低い

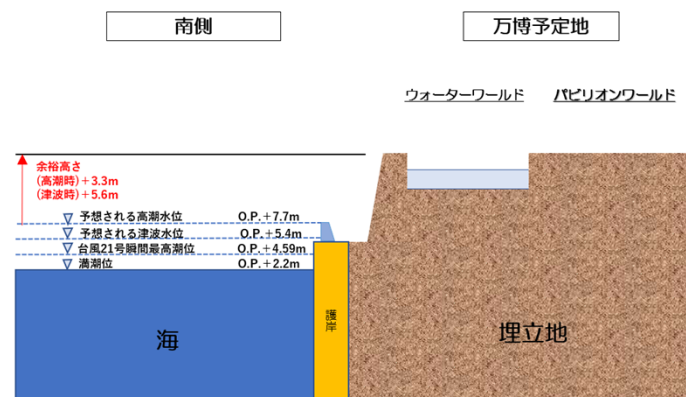
南海トラフ巨大地震の予想津波水位

O.P. +5.4m

- 夢洲は津波・高潮対策のためかさ上げされている
- 南海トラフ巨大地震の津波想定よりも約5m以上、台風による高潮想定よりも約3m以上の余裕
- 津波の浸水被害は夢洲周辺部に限られ、高潮についても、会場の大部分については浸水しない想定

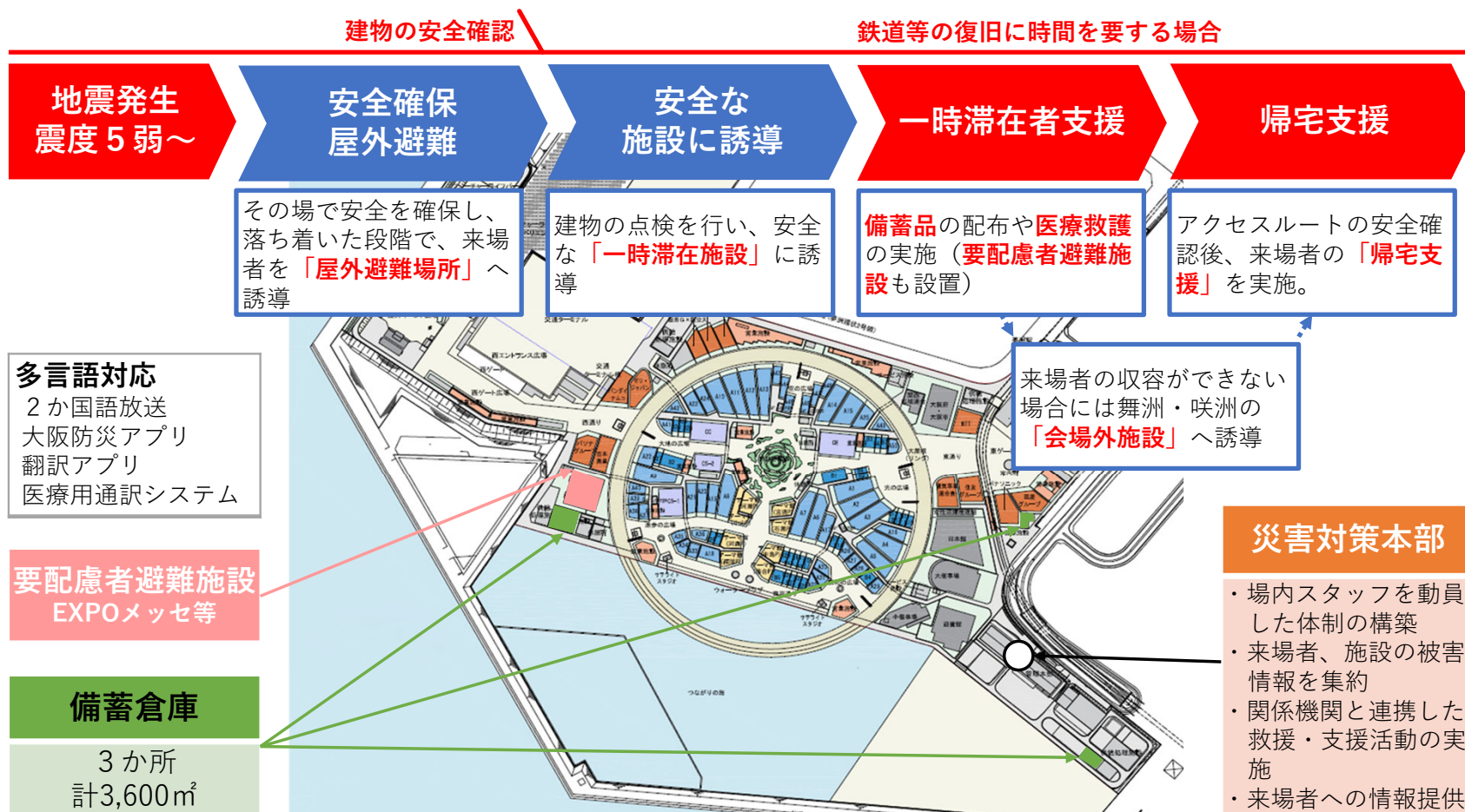


夢舞大橋は平成13年
夢咲トンネルは21年に竣工



大阪府防災会議南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会決定(H25)

3. 地震発生時等の対応



4. メタンガス爆発事故の概要

溶接作業中に発生した火花が、配管ピット内に溜まったメタンガスに引火したことにより、1階床などが破損。

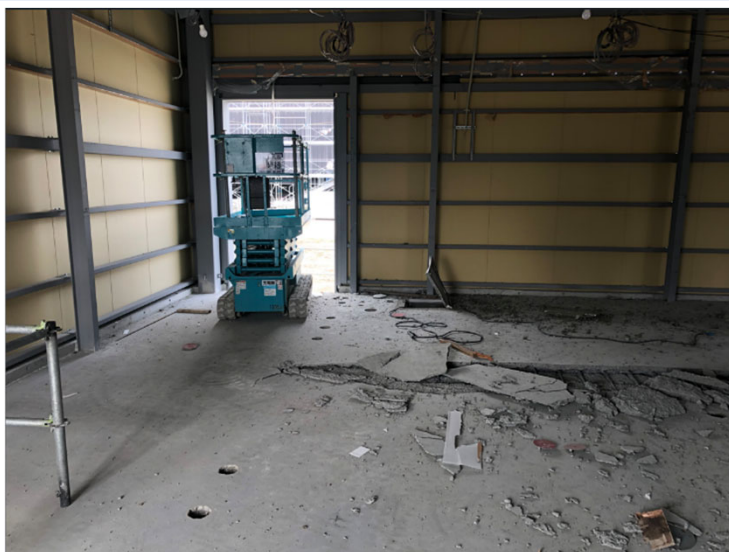
○事故発生日時：2024年3月28日（木）10：55頃／人的被害：なし

○物的被害：GW工区イベント広場横の東トイレ1階

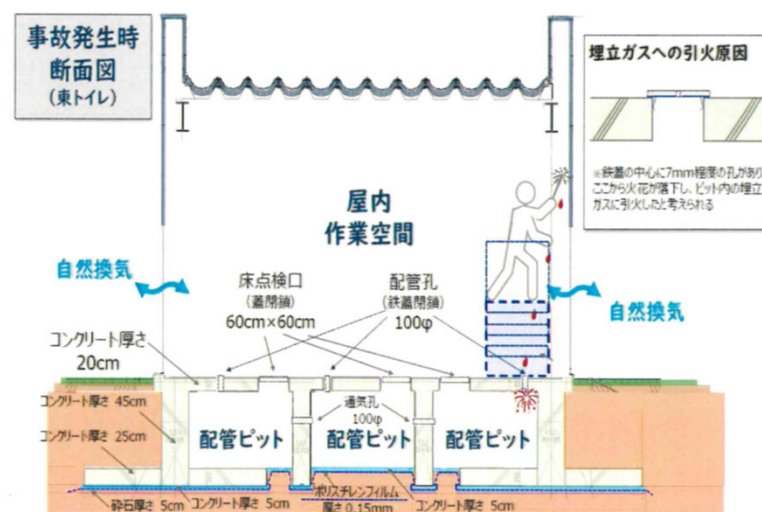
- ・コンクリート床や点検口の破損（破損規模：約100m²）
- ・屋根材の損傷（損傷範囲：2,850×2,500mm、凹み10か所）
- ・基礎梁部スリーブ損傷（損傷箇所：2カ所、スリーブ内面変色）

○事故の原因

- ・配管ピット直下の土壌から発生した埋立ガスが、配管ピット内に入り滞留し、ガス濃度が高くなっていた。
- ・溶接作業の範囲が地上階であり、配管ピット内はガス濃度測定の対象エリア外であると認識していた。



〈コンクリート床及び床点検口の破損状況〉



〈事故発生時の東トイレ断面イメージ図〉

4. 会期中の安全対策（メタンガス等）について

- ・グリーンワールド工区（一般廃棄物・上下水道汚泥等の埋立地）の建物の地下ピット内でメタンガスを検知したのは、東トイレ、西トイレのみ。東トイレは基準値超の濃度（※1）を計測（別紙1参照）
- ・パビリオンワールド工区（浚渫土砂・建設発生土等の埋立地）でのメタンガス検知は5箇所のみ
- ・測定結果を踏まえ、メタンガス等（※2）の発生に対し、以下の会期中の安全対策を実施します
 - ※1労働安全衛生規則による坑内労働者の退避、火気使用停止等の基準濃度（1.5vol%(30%LEL)）
 - ※2メタンガス、一酸化炭素、硫化水素、二酸化炭素、アンモニア

1. グリーンワールド工区の新たなハード対策

①東トイレ、西トイレにおいて以下の対策を実施（別紙2参照）

- ・便器や配管周囲にシール等を設置し、隙間を埋め、地下ピットからのガス侵入を防ぐ
- ・地下ピット、天井内に侵入したガスについて、機械換気設備を設置し、強制換気
- ・地下ピット、室内、天井内にガスの滞留状況を計測するためのガス検知器を設置

※その他の建物についても、上記を基本に、今後の濃度測定結果に応じて、換気設備能力や検知器の設置場所・数量等の対策内容を決定

②屋外の地下埋設構造物での対策

- ・雨水排水、電気設備等マンホール等の蓋の有孔化等を行い、滞留するガスを排出

※パビリオンワールド工区は、低濃度ガスが検知された地下鉄工事上部エリア、グリーンワールド工区近接エリアで、ガス濃度測定を重点的に実施し、その結果を踏まえて同様の対策を実施

2. グリーンワールド工区、パビリオンワールド工区のソフト対策

- ・博覧会協会がガス濃度測定を継続的に実施し、ガスが検知された箇所で換気を実施
- ・博覧会協会HPにて、測定値を毎日お知らせすることを検討。来場者等がわかりやすい公表内容もあわせて検討（工事期間中も、測定結果を定期的に公表）



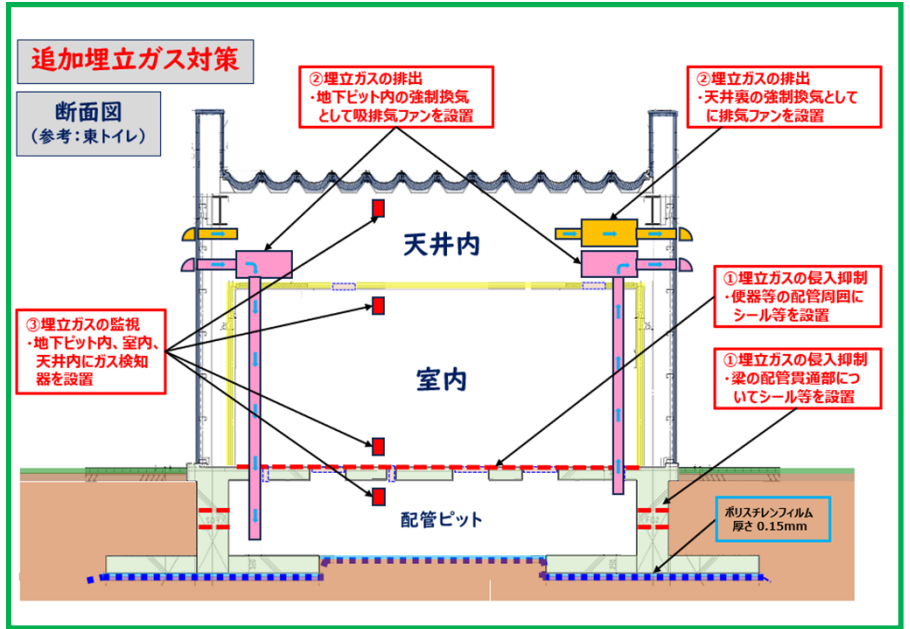
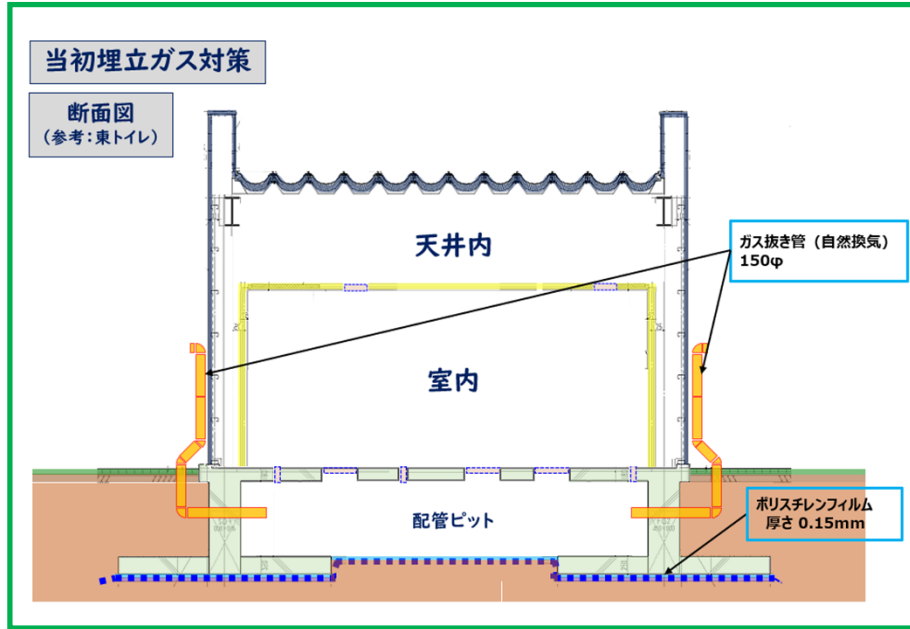
4. 会期中の安全対策（メタンガス等）について

＜別紙1：メタンガス測定結果＞



4. 会期中の安全対策（メタンガス等）について

<別紙2：会期中のグリーンワールドエ区（東・西トイレ）のガス対策>



※その他の建物についても、上記を基本に、今後の濃度測定結果に応じて、換気設備能力や検知器の設置場所・数量等の対策を実施



公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会

- ・大阪・関西万博の最新情報など「公式ホームページ」：

<https://www.expo2025.or.jp/>

- ・教育旅行に関する情報など「教育旅行ナビ」：

https://www.expo2025.or.jp/overview/school_trip/

- ・教育旅行についてのお問い合わせ「地域・観光部 教育旅行担当」

school_trip@expo2025.or.jp (※schoolとtripの間に _ があります)

